

(1) 検査項目及び水質基準(厚生労働省令第101号(平成15年5月30日)-水質基準に関する省令-で規定)

水質項目		水質基準	分類
1	一般細菌	1mlの検水で形成される集落数が100以下であること。	病原生物 の指標
2	大腸菌	検出されないこと。	
3	カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して、0.01mg/L以下であること。	
4	水銀及びその化合物	水銀の量に関して、0.0005mg/L以下であること。	
5	セレン及びその化合物	セレンの量に関して、0.01mg/L以下であること。	
6	鉛及びその化合物	鉛の量に関して、0.01mg/L以下であること。	
7	ヒ素及びその化合物	ヒ素の量に関して、0.01mg/L以下であること。	
8	六価クロム化合物	六価クロムの量に関して、0.05mg/L以下であること。	
9	シアノ化物イオン及び塩化シアノ	シアノの量に関して、0.01mg/L以下であること。	
10	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下であること。	
11	フッ素及びその化合物	フッ素の量に関して、0.8mg/L以下であること。	無機物質
12	ホウ素及びその化合物	ホウ素の量に関して、1.0mg/L以下であること。	
13	四塩化炭素	0.002mg/L以下であること。	
14	1, 4-ジオキサン	0.05mg/L以下であること。	
15	1, 1-ジクロロエチレン	0.02mg/L以下であること。	
16	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下であること。	
17	ジクロロメタン	0.02mg/L以下であること。	
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下であること。	
19	トリクロロエチレン	0.03mg/L以下であること。	
20	ベンゼン	0.01mg/L以下であること。	
21	クロロ酢酸	0.02mg/L以下であること。	有機物質
22	クロロホルム	0.06mg/L以下であること。	
23	ジクロロ酢酸	0.04mg/L以下であること。	
24	ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下であること。	
25	臭素酸	0.01mg/L以下であること。	
26	総トリハロメタン (クロロホルム、ジブロモクロロメタン、ブロモジクロロメタン及びブロモホルムのそれぞれの濃度の総和)	0.1mg/L以下であること。	消毒副生成物
27	トリクロロ酢酸	0.2mg/L以下であること。	
28	ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下であること。	
29	ブロモホルム	0.09mg/L以下であること。	
30	ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下であること。	
31	亜鉛及びその化合物	亜鉛の量に関して、1.0mg/L以下であること。	無機物質
32	アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して、0.2mg/L以下であること。	
33	鉄及びその化合物	鉄の量に関して、0.3mg/L以下であること。	
34	銅及びその化合物	銅の量に関して、1.0mg/L以下であること。	
35	ナトリウム及びその化合物	ナトリウムの量に関して、200mg/L以下であること。	
36	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.05mg/L以下であること。	
37	塩化物イオン	200mg/L以下であること。	
38	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下であること。	
39	蒸発残留物	500mg/L以下であること。	
40	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下であること。	
41	(4S, 4aS, 8aR)-オクタヒドロ-4, 8a-ジメチルナフタレン-4a(2H)-オール (別名ジェオスミン)	0.00001mg/L以下であること。	有機物質
42	1, 2, 7, 7-テトラメチルビシクロ[2, 2, 1]ヘプタン-2-オール (別名2-メチルイソボルネオール)	0.00001mg/L以下であること。	
43	非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下であること。	
44	フェノール類	フェノールの量に換算して、0.005mg/L以下であること。	
45	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	5mg/L以下であること。	
46	pH値	5.8以上8.6以下であること。	基礎的性状
47	味	異常でないこと。	
48	臭気	異常でないこと。	
49	色度	5度以下であること。	
50	濁度	2度以下であること。	

水質項目41,42の基準については、平成19年3月31日までの基準値です。

(2) 検査方法(水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法)

水質基準項目		検査方法
1	一般細菌	標準寒天培地法
2	大腸菌	特定酵素基質培地法
3	カドミウム及びその化合物	誘導結合プラズマー質量分析装置による一斎分析(ICP-MS法)
4	水銀及びその化合物	還元気化-原子吸光光度法
5	セレン及びその化合物	
6	鉛及びその化合物	誘導結合プラズマー質量分析装置による一斎分析(ICP-MS法)
7	ヒ素及びその化合物	
8	六価クロム化合物	
9	シアノ化物イオン及び塩化シアノ	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法
10	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	イオンクロマトグラフ(陰イオン)による一斎分析法
11	フッ素及びその化合物	
12	ホウ素及びその化合物	誘導結合プラズマー質量分析装置による一斎分析(ICP-MS法)
13	四塩化炭素	パージ・トラップ-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斎分析法(PT-GC-MS法)
14	1,4-ジオキサン	固相抽出-ガスクロマトグラフ-質量分析法(固相抽出-GC-MS法)
15	1,1-ジクロロエチレン	
16	ジス-1,2-ジクロロエチレン	
17	ジクロロメタン	パージ・トラップ-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斎分析法(PT-GC-MS法)
18	テトラクロロエチレン	
19	トリクロロエチレン	
20	ベンゼン	
21	クロロ酢酸	溶媒抽出-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斎分析法 (溶媒抽出-GC-MS法)
22	クロロホルム	パージ・トラップ-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斎分析法(PT-GC-MS法)
23	ジクロロ酢酸	溶媒抽出-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斎分析法 (溶媒抽出-GC-MS法)
24	ジブロモクロロメタン	パージ・トラップ-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斎分析法(PT-GC-MS法)
25	臭素酸	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法
26	総トリハロメタン	クロロホルム、ジブロモクロロメタン、ブロモジクロロメタン及びブロモホルム ごとに22の項、24の項、28の項及び29の項に掲げる方法
27	トリクロロ酢酸	溶媒抽出-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斎分析法 (溶媒抽出-GC-MS法)
28	ブロモジクロロメタン	パージ・トラップ-ガスクロマトグラフ-質量分析計による一斎分析法(PT-GC-MS法)
29	ブロモホルム	
30	ホルムアルデヒド	溶媒抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ-質量分析法 (溶媒抽出-誘導体化-GC-MS法)
31	亜鉛及びその化合物	誘導結合プラズマー質量分析装置による一斎分析(ICP-MS法)
32	アルミニウム及びその化合物	
33	鉄及びその化合物	フレームレス-原子吸光光度計による一斉分析法
34	銅及びその化合物	誘導結合プラズマー質量分析装置による一斎分析(ICP-MS法)
35	ナトリウム及びその化合物	イオンクロマトグラフ(陽イオン)による一斎分析法
36	マンガン及びその化合物	誘導結合プラズマー質量分析装置による一斎分析(ICP-MS法)
37	塩化物イオン	イオンクロマトグラフ(陰イオン)による一斎分析法
38	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	イオンクロマトグラフ(陽イオン)による一斎分析法
39	蒸発残留物	重量法
40	陰イオン界面活性剤	固相抽出-高速液体クロマトグラ法
41	ジェオスミン	パージ・トラップ-ガスクロマトグラフ-質量分析法(PT-GC-MS法)
42	2-メチルイソボルネオール	
43	非イオン界面活性剤	固相抽出-吸光光度法
44	フェノール類	固相抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ-質量分析法
45	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	全有機炭素計測定法
46	pH値	ガラス電極法
47	味	官能法
48	臭気	
49	色度	透過光測定法
50	濁度	積分球式光電光度法

水道水質遠隔自動監視装置		検査方法
色(色度)		連続自動測定機器による透過光測定法
濁り(濁度)		連続自動測定機器による透過光測定法
消毒の残留効果(残留塩素)		ポーラログラフ法

(3) 主要検査機器一覧

名称 メーカー 型式		導入年月	主な分析項目
1	ガスクロマトグラフ質量分析計 (サーイモエレクトロン製 GCQ Plus)	平成10年12月	ホルムアルデヒド、農薬
2	イオンクロマトグラフ (DIONEX製 Dxi-500)	平成14年8月	硝酸態窒素、フッ素、ナトリウム、塩化物イオン、硬度(カルシウム、マグネシウム等)
3	ガスクロマトグラフ質量分析計 (島津製作所製 QP2010)	平成15年11月	クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、トリクロロ酢酸、フェノール類、1,4-ジオキサン
4	水道水質遠隔自動監視システム (東亜ディーケーケー製 MWA4-30(S))	平成16年2月	色度、濁度、残留塩素
5	バージ・トラップガスクロマトグラフ質量分析計 (O·I·Analytical製4660 & Agilent製6890N+5973)	平成17年2月	四塩化炭素、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、ジクロロメタン、デトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、総トリハロメタン、プロモホルム、ジェオスミン、2-メチルイソボルネオール
6	誘導結合プラズマ質量分析装置 (Perkin Elmer製 ELAN DRC-e)	平成20年3月	カドミウム、セレン、鉛、ヒ素、クロム、ホウ素、亜鉛、アルミニウム、銅、マンガン